４．成績評価における客観的な指標

授業科目の総時間数の 2/3 以上の出席した者は試験を受けることができる。
成績評価は筆記試験のほか、レポートや演習課題、実技による試験も含まれる。
各授業科目の評価は 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
学校長は授業科目の出席すべき時間数の３分の２以上出席し、その試験に
合格した者に、学校運営会議の承認を得て、単位の修得を認定する。
学籍簿の単位修得の表示は以下のように行う。
AA(90 点以上)　A（80 点以上）　B（70 点以上 80 点未満）
C（60 点以上 70 点未満）　D （60 点未満もしくは無資格）　N（単位認定）

履修科目の成績評価を 100 点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。その数値（平均点）をもとに、各回生（学年）の成績順位を示す。